

〈記入上の注意〉

【出発前】

赤枠内を出発の2ヶ月前までに記入し、シラバス・「国外留学申請書(添付資料含む)」とともに学事担当(大学院担当)まで提出をしてください。

【帰国後】

「留学に伴う単位認定・在学期間算入申請書」・シラバス・留学先の成績表を持参し、所属プログラムの学習指導教員と面談、認定可否の判断を受けてください。プログラム学習指導印欄に押印またはサインをいただいでください。□

↓
「留学に伴う単位認定・在学期間算入申請書」・成績表を学事担当に提出してください。学習指導主任の確認後、合格した科目を教授会に諮ります。

①修士1年	②学籍番号: 8 × × × × × × × ×	③氏名: ○○ ○○
④留学先大学名: ○○大学	×: University of	⑤国名: アメリカ
⑦修了予定: 20○○年○月	⑧留学期間: 20○○年○月○日 ~ 20○○年○月○日	(※留学期間は会議承認された期間を記載すること)
⑨単位認定: 希望する	⑩在学期間算入: 希望する(2学期)	⑪算入学期: 20 × × 年春学期・20 × × 年秋学期
⑫留学期間終了学期の科目の履修:	履修しない	

①⑥⑨⑩⑫は、ブルダウンから選択してください。

受付	プログラム学習指導印	学習指導主任印	受理

この行は事務にて記入しますので、記入しないでください。

資料番号	科目名(原語) *英語以外の場合は英訳を併記 【使用言語】	①講義内容(概略・振り替え先科目との関連性) ②授業方法(講義・演習・実習等) ③授業時間数(週回×1回分×週=合計約分)	単位数	単位取得
1	Media and Society 【英語】	①印刷技術発明以前の社会の発展から、各媒体(新聞テレビ、映画、ラジオ、インターネット)の歴史、更には倫理や法律、広告なども学ぶ科目です。右の科目も、メディアに関する授業であり、その変遷などを学ぶため関連があると判断しました。 ②講義 ③週 2回×1回80分×10週=合計約1600分	3	可・否
2	Grands enjeux de la construction Européenne (The major challenges of the construction of Europe) 【フランス語】	①先学期のEUの歴史の統合史を踏まえて、EUの現状、域内・域外政策、直面している問題、EU加盟国間の関係など現代のことを扱った授業です。右に挙げた授業も同様のテーマを扱っており、内容もこれに一致するものと考えました。 ②その他 ゼミ ③週1回×1回240分×12週=合計約2880分	3	可・否

科目名 (認定を希望する義塾の科目名)	科目の種類 (分野コード)	単位数	認定年度 学期	認定
メディアの変遷と未来 担当教員: ○○ △ × 設置研究科: 政策・メディア	プログラム併設科目 (01-02-02)	2	2019年度 春学期	許可・不許可
現代ヨーロッパの国際関係Ⅱ(国) 担当教員: ○□ × × 設置研究科: 法学研究科	他研究科設置科目 (01-07-01)	2	2019年度 春学期	許可・不許可

授業での使用言語を選択してください。

「②その他」を選択した場合は、授業方法を記入してください。

留学先大学の単位数を記入してください。

【帰国後】に、履修した科目の単位が取得できたかどうかを○で囲んでもらいますので、留学前は記入しないでください。

科目の種類と分野コードは、大学院ガイド 第7章「履修申告 7.分野」ページを参照してください。

慶應義塾大学の単位数を記入してください。

留学期間の在学年数への算入を希望する方は、留学期間の学期を、希望しない方は留学期間前後の学期を記入してください。